

認知症診療にどう取り組んでいるか

## 病院と併設された施設

● 鹿井博文

### はじめに

2007年8月より塩酸ドネペジルをアルツハイマー病のフルステージ(軽度から高度まで)に用いることが認可されました。認知症患者に対する薬物療法と非薬物的療法との連携を考える際、<sup>1)</sup>FIFTH ANNUAL DEMENTIA CONGRESS (オランダ)で拝聴したPeter J. Lim博士によるプライマリー・ケアの講演が参考になります。坊や(認知症高齢者)の手を引くのは母親(薬物)であり、子犬達(CARE GIVERS)が背中を懸命に押して支えています。認知症診療におけるCARE GIVERの役割を明

確に示した目から鱗の一枚でした(写真①)。

アルツハイマー病は、様々なBPSD(認知症の行動心理学的症候)が出現し、これに対して精神科薬物療法が試みられます。しかし、FDAが警告するように、高齢者への薬物投与には常にリスクが伴います。この点からも非薬物的療法は必要であり、著者は、認知症緩和ケアとしての「タクティール・ケア」<sup>1,2)</sup>に着目しています。本法の概略と当院での実践<sup>1,2)</sup>をご紹介します。

## 教育センターの設立へ

2007年3月7日国賓スウェーデン国王陛下ご夫妻が来日された際に、JSCIE（日本スウェーデン福祉研究所）主催の記念セミナーに参加し、タクティール・ケアについてスピー

## ①プライマリケアの講演で使用された写真



Presented by Peter J.Lin,MD(University of Toronto)

チする機会を得ました。<sup>2)</sup>これを契機として、スウェーデンの認知症ケアを導入しようとする流れが加速化され、同年6月JSCIE認定「シルヴィアホーム認知症看護・介護教育センター」が開設されました。「タクティールケアリダーコース」<sup>3)</sup>などの研修プログラムが開催されています。研修終了後、50時間の実務を経て資格試験を受けます。当院の認定者は15名に及び、①認知症治療病棟②認知症デイケア③外来④精神科訪問看護において活動しています。認知症ケアの質を向上させ、認知症高齢者やご家族を支えることを目標とします。

### タクティール・ケアとは何か？

ラテン語「タクティリス (Tactilis)」から由来し、「触れる」という意味です。著者は、アイヌ語で人が初めて会ったときに使う「イランカラプテ (iram karapte)」に着目しています。

「はじめまして、こんにちは」および「あな

たの心に少しだけ触れさせてください」の意味を持つ言葉であり、タクティール・ケアとはここに染み入る「お手当て」であると理解しています。

### タクティール・ケアの効果<sup>5)</sup>

相手に直接触れることで信頼感を醸し出し、コミュニケーションの下地ができます。精神的安心感や信頼感を与え、孤独感やストレスを緩和します。循環を促進して筋緊張を解し、気持ちよくなると思いますが、通常会話が難しい方や失語症の方でも、非言語的交流の手段となります。ここで強調したいことは、タクティール・ケアを施行する側も、同時に相手からの癒しを受け、高齢者を尊重し大切に作る姿勢が自然に醸成されて行く点です。お互いの『魂』を通わず共同作業といえます。

### 実施する際の注意点

相手に触れるということは、「密接空間」に入ることです。とくに認知症高齢者の場合、これから始まるうつとしていることを判断することが困難です。了解を得た後、声をかけながら腰を落とし、下から見上げるようにして触れるとよいでしょう。終了後、それを告げると同時に触れることを許してもらったことへの感謝を述べます<sup>4)</sup>。

### タクティール・ケアの歴史

安心感や安堵感を与える触れ合いが精神的によいことは、1936年 Sir Henry Dale が提唱し、これらに影響しているものが Oxytocin (“quick birth”を意味する)と命名されました。タクティール・ケアは、1960年代に Sir Ardeby により生み出され、1994年社会庁が「50歳以上の人達を対象とした介護福祉プロジェクト」で採用、1996年「タクティール

・ケア」と命名され<sup>5)</sup>、1997年タッチリサーチ研究所 (Touch Research Institute, USA) が紹介し、1999年以降、スウェーデンの高齢者・知的障害者施設、医療機関や職員の福利厚生でも採用。2005年「Oxytocin が人相互間の信用・信頼を醸成する」という興味深い研究結果が Nature 誌に掲載されました<sup>7)</sup>。

## 対象者

高齢者、妊婦、子ども、ストレス状態にある方達のリラクゼーションや就寝前施行で安眠が得られます<sup>8)</sup>。例えば、不登校児に母親がケアを続けているうちに情緒面が安定し約1カ月で登校できるようになりました。妊婦が予定日を超過、夫がケアを繰り返すうちに自然分娩に至りました。また、「授乳のときの感覚とケアを受けているときの感覚が全く同じです」と述べています。Oxytocin が「絆のホルモン」といわれるゆえんでしょう。次に、高齢者の睡

眠障害が改善し、行動が落ち着き介護者に余裕がでてきた。糖尿病の不安やストレスを緩和し、安心感を与え血液循環を促進する。がん患者やリウマチ患者への疼痛緩和ケアなどの報告があります。

## 当院での実践

- 1) 対象者…入院中およびデイケア通所中のアルツハイマー病 (AD) 23例 (男7例、女16例) (表②) と血管性認知症 (VD) 18例 (男3名、女15名) ③ 認知症以外の患者と何らかの症状を訴える健常者で計33例、合計74例
- 2) 方法…「手・足・背中」より選択。クッション、バスタオル、オイルを使用。
- 3) ケアの時間…Oxytocin の分泌を考慮し、1手技10分〜30分。1例10時間以上。
- 4) 場所…カーテンで仕切ったベッド上や衝立で仕切った椅子に掛けて施行。

5) 結果…AD 23例中22例 (96%)、VD 18例

## アルツハイマー病の事例

	年齢・性別	症状・効果
1	91・F	コミュニケーションが取りやすくなった。途中傾眠がちとなり、安心感があつた。
2	81・M	見当識障害著明：トイレ誘導時のコミュニケーションが取りやすくなった。途中傾眠がちとなり、安心感があつた。
3	86・F	記憶障害著明：途中ででの入眠が多々見られた。
4	78・M	しかめ顔が少なくなり、リラックスできている。
5	74・F	妄想があり、過干渉。高笑いも落ち着き穏やかになった。
6	75・M	表情が穏やかになり、落ち着きがでてきた。
7	78・F	落ち着きがでてきた。
8	83・M	放声：放声が少なくなり、夜間の睡眠がよくなった。
9	78・F	収集癖：収集癖は変わらなかった。
10	77・F	四肢の硬縮：皮膚の潤いが増し手指の硬縮が柔らかくなった。
11	78・F	不安感が強い：満足そうな表情になり、しばらくは穏やか。
12	86・F	理解力低下、バーバルコミュニケーション不可：施行中、クックッと笑うことが多くあり、表情がやさしくなる。
13	95・F	不安感が強い：施行後は少し不安感が軽減された。
14	79・F	DC 休所が多い：コミュニケーションが取りやすくなり、休所が少なくなり、楽しみにしている。
15	85・F	情緒不安定：情緒面での安定が少し図られている。
16	93・F	不眠・下腿の浮腫：回数を重ねるに伴い浮腫が軽減された。ADL の向上に繋がった（オムツ パンツ）
17	89・F	下腿の浮腫：気持ちのよさはあつたが、浮腫の軽減には至らなかった。
18	77・F	不眠・便秘：手への施行で腸運動亢進。
19	74・F	右第1腰椎圧迫骨折・右尺骨骨折・歩行障害・右手指軽度拘縮：不安が強く、リハビリプログラムの遂行が困難なときがある。「とても大事にしてくれてありがとう」と嬉しそうに言う。リハビリへの促しが容易になった。
20	70・M	左大腿骨頸部内側骨折：「大事そうにさすってもらうことが嬉しい」リハ開始前の手技として大変有効（温まることで動作開始がスムーズになった）
21	83・M	両下腿浮腫・両手拘縮：ケアの日は放声もなく良眠。両下腿浮腫が軽減し、両手拘縮も回数が重ねる度に緩和しつつある。
22	83・F	異食：異食がやや改善
23	83・M	不穏・徘徊：徘徊時の誘導、ケアを行うことでリラックス感を持たせた。

（資料作成：伊島看護副部長、豊田課長）

中16例(88%)、他33例中33例(100%)に対象者が抱える問題点に何らかの好ましい効果を得ることができました。一部を提示します(表②)。

## まとめ

認知症高齢者に対するタクティル・ケアの実践を述べました。薬物療法の補完的な意味合いを持つケアですが、未だ確たるエビデンスを持つには至りません。「お手当て」は医療の原点であり、本法により、お互いに人として尊敬の思いを抱き、思いやるこころが芽生えてくるのではないかと考えています。

(雁の巣病院 副院長)

## 文献

- 1) Geriatric Medicine, Vol. 45, No.2, 2007, 2, 183~195  
Fifth Annual Dementia Congress & Japanese/US Round-table
- 2) 医療タイムス, 2007.4.27 No.1813, p41

- 3) JSCITタクティルケアリーダー コース資料
- 4) アイヌ長老の教え、第1回イランクラブテ(こんにちかは、秋山得平、(社)北海道ウタリ協会副理事長)
- 5) コミュニティケア、2007.6 Vol.9 No.7 101号  
日本看護協会出版会
- 6) 介護情報ケアスクエア、介護・福祉情報ページ(株)舞浜倶楽部
- 7) Kofield, M. et al. : Nature, 435, 673(2005)
- 8) 認知症・アルツハイマー病、治療・ケア最前線  
2007.11.20' 主婦の友社

